

## 本事業の目的

広域共同利用型の医療・健康情報活用基盤（EHR）の全国普及のため、地域の特性に応じ、医療・健康情報活用基盤を構築した地域医療情報連携に関する実証事業を展開。

## 本事業の目指す成果

### ①3実証フィールドの報告書

23年度事業の3実証フィールドにおいては、地域の特性に応じ、それぞれの実証事業において構築したICT関連機器・システムの仕様、医療・健康情報活用基盤の機能、技術仕様、運用モデル等をアウトプットとしてとりまとめ。

#### フィールド1

香川県高松市、三木町、さぬき市

処方情報の電子化・医薬連携事業  
(処方情報の電子化・医薬連携)

#### フィールド2

広島県尾道市、福山市、三原市

「天かける」医療・介護連携事業  
(医療・介護連携)

#### フィールド3

島根県出雲市、太田市

共通診察券事業  
(共通診察券・救急連携)

### ②標準的モデルの策定・普及

3実証フィールドの成果を踏まえ、システムの機能、技術仕様、運用方法等につき、地域の特性に応じた項目と標準的なEHRで扱うべき事項を整理し、全国でEHRが拡張されるにあたっての標準的モデルを取りまとめる。

関係省庁・医療情報化関係の標準化団体等との連携の下、標準的モデルの全国普及展開

# 健康情報活用基盤構築事業(日本版EHR)のアウトプットについて(案) ②

## 標準的モデルの構成

広域共同利用型の医療・健康情報連携基盤において、

- ① 共有すべき情報
- ② 標準的なシステム構成
- ③ 運用モデル

### ①共有すべき情報

- i. 病診連携、医療・介護連携、医薬連携において必要となる情報項目
- ii. 上記情報項目の標準化状況に関する検討

### ②標準的なシステム構成

- i. 医療・健康情報連携基盤の基本的構成要素及びその要素に求められる要件
- ii. 医療・健康情報連携基盤の基本となる機能とその機能が具備すべき要件
- iii. 医療・健康情報連携基盤におけるアクセス制御、認証などのセキュリティ管理の在り方

### ③運用モデル

- i. 運営体制や個人情報の管理等の課題、問題点の整理及び解決方策
- ii. 医療・健康情報連携基盤の継続的運用のための、収益を確保し事業継続するための方策